



## とてつもない獲物を狙うプーチン決死の大バクチ(博打)！

西暦 10 世紀からロシアは大ロシア、ウクライナは小ロシア、ベラルーシは白ロシアの三国共同体でみんな同胞である。

だからソ連の衛星国時代ウクライナとベラルーシは他と異なり特別に優遇されていた。

ウクライナ侵攻と都市攻撃にどんな理由で何があれプーチンは同胞ウクライナを永遠の敵にしてしまった。

21 世紀の今日、敵国又は対立国の国境や領空近辺で軍事訓練や多少の領海、領空侵犯などの威嚇行為はよくあることだが、ある日突然他国の国境を越えて侵攻、都市を破壊し国民を殺傷するなどは誰にも想像も出来ないことであった。

ウクライナ侵攻でプーチンは世界を敵に回して孤立、国内でもプーチン親派の離反や外国支援の反プーチン勢力を勢い付ける結果になった。

さらに SWIFT(国際銀行間通信協会)から除外され、例え代替機関があるとは言え、ロシア経済が大打撃を受けているのは明白な事実である。

プーチンはこれだけの代償を払って何を狙っているのか。

「ロシアが敵 NATO の脅威から安全を守る為にはウクライナは緩衝地帯でなくてはならない。にもかかわらずウクライナは敵と手を組もうとしている」、「だからゼレンスキー(ウクライナ大統領)はかつてナチスがモスクワに侵攻してきた時、ウクライナが敵と組んだのと同じくネオナチだ！断じて許せない！」とプーチンは叫ぶ。

プーチンなりのロシアの安全保障上の問題はあるだろうし、過去の恨みもあるだろう。

仮にロシア軍がキエフを平定して親口傀儡政権を樹立したとしても、全ウクライナ人は反プーチン、反ロシアだから 365 日反政府デモが続き政府は機能しないことは確実である。

それをプーチンは百も承知している。

プーチンの言動と行動を見れば、誰でも「プーチンは狂っている」と思うだろう。

プーチンを天才と言ったトランプ(前米大統領)と増田俊男はプーチンが何をしようとしているのか、手に取るように分かる。

それはロシアの安全保障などという目先の問題ではない。

それは世界にとって「とてつもないことである」！

本日の「増田俊男チャンネル」(無料 Youtube)で、とくとお話する所存。

こちら(<http://movie.masuda-toshio.com/>)からアクセスして下さい。

### 増田俊男の「目からウロコのインターネットセミナー」大好評配信中！

1ヶ月わずか約¥1,000！ご契約は1年単位になります

現在大好評配信中！「目からウロコのインターネットセミナー」！視聴期間はお申込み翌月より12ヶ月となりますのでお申込み月は無料でご視聴頂けます。1か月の平均配信回数は4~6回になります。詳しいご案内、お申込みについてはマスダ U.S. リサーチジャパン株式会社 (FAX: 03-3956-1313、HP: [www.chokugen.com](http://www.chokugen.com)) まで。